

「海とさかなとわたしたち」をテーマに、海とさかなにかかわる「なぜ?」から生まれた研究・創作作品を募集した第37回「海とさかな」自由研究・作品コンクール。2万9172点の個性あふれる応募作品から、入賞作品67点が決まりました。その中から、最優秀賞16作品と海外作品特別賞、学校・団体協力賞を紹介します。

（くわしい紹介はコンクールホームページに掲載されています）

〈くわしい紹介はコンクールホームページに掲載されています〉

自由研究
わたしのかちまで
千葉県印西市立小倉台小学校 1 年
佐瀬 英麗奈

海の魚が自分のところまでどうやって来るのかという疑問から、いろいろなところに出向いた行動力がすごい。さまざまな調理法で、おいしく食べていることも評価されました。

わたしはどのようにお過ごしになりましたか？
 いろいろありました。あつちでは、
 いろいろお過ごしをいたしました。

まぐろのいしをのくにをわけて、まじ
 りて、で、きたみをあじみをして、
 のいあふあがのりて、るあふやてました。

まぐろのい
 して、
 きていました。

わたくしがおうちでせうなきをべいてるところ



「けんきゅうのまっかけ」
わたしは、ごはんのメニューで、さかなが、しほんすきです。とくに、タイやサバの、しほやきが、だいきです。おぼあちゃんといっしょに、スーパーで、さかなをかったことはあるけれど、うみにすんでいるさかなが、どうやって、ここまできたのかふしぎにおもひ、しらべてみようとおもいました。

「くふうしたの？」
いろんなさかなの、さかなりょうりをつくって、たべくらべてみました。さかなが、どうやってきたのかしるために、いろい로운ばしよにいつてみました。

「しらべたいの？」
①うみから、さかなのいきさき。
②りょうりや、いちばをしらべてみる。
③さかなについてしらべる。
④おいしいさかなりょうりのつくりかた。

「しらべたほうほう」
○ほいくえんでもらった「うみのひみつ」や、おにいちゃんもついていた「かんがえてはけんえほんをよんだ」
○おさかなやさんの、いいじまさんにきいた。
○うみや、いちばにいつた。
○としょかんて、さかなのほんをよんだ。
○いろんなさかなのりょうりをした。
「しらべたないよう」
うみから、わたしのくちまでのルート
（…以下略）
「りょうりにいつてみた。」（…略）
「いちばに、いつてみた。」（…略）
「ちまつしきま」にいつてみた」「ちまのえきでおさかなやさんをいつていいの、いいじまさんに、さかなのさばきたをおしえてもらいました。」（…略）
「さかなのからだやくめ」…略

「わたしがいつもたてているさかなのみなあに？」（…略）
「さかなのしゆるい」…略
「おいしいさかなりょうりのつくりかた」
（シーキン）シリヤキイナダ（へか）あべ（コノシロ）へにつけいわし（へ）やき（たい、さんま、あじ）（…略）
「わかったこと」
○さかなの、うみから、わたしのくちまのルートは、うみで、りょうりさんがかなをとつて、いちばで、おろしうりぎうしやが、さかなをしいれて、かこうすひとがかこうして、さかなのてんいひさんが、うりばにならべて、そしてわつた、しながわで、おうちのごはんまで、くるとが、わかつた。（…以下略）
「かんそく」
いろいろうしらべていくうちに、おもしろくなつていきました。（…以下略）

それでも海へ

東日本大震災で8代続いた魚屋を
閉めることになり、お父さんが魚屋
の専務から漁師1年生に。
ドラマチックな実生活の中での父へ
の思いが、まっすぐに表現されて
います。

「失敗して先輩漁師におこられた。」
「次から次へと覚えることがいっぱいで大変。」
「家族に会いたい。」
そのふらふらとした弱々しい字の中に、父のつらさがにじみ出ているように、胸が苦しくなつてしまつた僕。
でも、どんなにつらくとも僕たちの前では仕事のつらさを見せません。
だから、父が女川に戻る時は、必ず家族みんなで車が見えなくなるまで手をらふて見送ります。
今年の夏のお盆、お墓参りに行つた時父の大きな背中を前にして歩いてくると左足をひきずつて、足をかばうように歩いていくことに気づきました。僕が、「運動神経抜群のお父さんでも足を痛めくるといふ船の仕事は大変なんだね。」と声をかけると、
「魚屋から漁師になつたけど、どちらも海の仕事。オレはやっぱり海と生きていきたい。お父さんから海を取つたら、何も残らない。」と語つたあと、
「海に生かると、若き漁師は力込め、

顔光りたり、海に向きつつ、
 という、ひいばあちゃんが作ってくれた
 応援のうたを見せてくれました。
 それから、女川での様子を話し出しま
 した。

女川の海は、サバ、イワシなどが季節
 関係なくとれるのだそうです。中でも、
 一番大きい大羽イワシは、トイレットベ
 ーのしんくらのい大きなさだというか
 らびつくりです。

「この大羽イワシが大漁だとみんな大喜
 びするんだぞ。」
 と、とびつきの笑顔で教えてくれまし
 た。(…以下略)

まもってあげろ

まもってあげるね

口の中で稚魚を育てる様子をダイナミックに表現しています。どうやって作ったのかなと不思議に思わせるのもいいとの評価もありました。

[illegible]

絶滅危惧種に指定されたウナギが大量に売られていることに着目。ニュースにもなった社会的なテーマに、科学的な手法で取り組んだ読み応えのある作品です。

● ぼくはウナギが大好きです。今年の7月20日の土用の丑の日もウナギをたました。ウナギはスーパーで1び1380円（中国さん）でした。スーパーにはたくさんウナギがならんでいました。

● ぼくはふしぎに思いました。なぜならぜつめつきくしゅにしていされてるウナギがスーパーにはどうざりならんでるからです。しかも今年はシラスウナギがふりよだったというニュースもみました。

● そこで、ぼくはへっているはずのウナギをこのまま大りようにたべつづけていいのかもしれないもんをかいめいしていいかと考えました。

○ **「ウナギは本当にぜつめつきくしゅ!?」**
● 今年の夏もスーパーやお弁当屋さんなどに、たくさんウナギがならんでいました。

〔以下略〕

① まずは、7/20にウナギを買ったスーパーで、聞いてみよう！
「ミット」（王子さくら田通り店）
水さん（さん） さとうさん（さん）
Q. 今、ウナギをたべていいと思いますか？
A. はい、いいと思います。
Q1. 今年ウナギは高いですか？
A. 高いです。シラスウナギが不漁だったの。元の値段が高水分、15%引きにして、買いやすくしています。

Q2. これからずっとたかいですか？
A. 高いままかも、でもわからない。来年シラスがたくとれたら、まなやすくなるかも。

〔以下略〕

② うなぎやはどう思っているのか聞いてみよう。
「ますます家」（そうぎよう68年赤羽にある川魚や）
〔以下略〕

③ ウナギをよろしくしている人にも聞いてみよう。
「天保よう魚場」（しずおかけんはまなこ）
〔以下略〕

④ 天然ウナギをとっている人にも聞いてみよう。
「かぶしき会社 フォレストキャニオン 正木さん」（こうちけん四万十川）
〔以下略〕

⑤ もしもウナギがしゃべれたら何ていうか考えてみた。
〔以下略〕

○ ぼくはどうしたらいいのだろう……
〔以下略〕

○ 新聞ききに、イオンがウナギでもMSCにんしょうをとることをめざすと書いてあったので、その後でMSCになったのが聞いてみた。

○ MSC ASC ヘルをさがしにいじりー
〔以下略〕

「コンクールOB」先輩からのメッセージ

2年生からナキオカヤドカリをテーマにコンクールに参加し、去年の第36回まで5年連続で最優秀賞に輝いた善明宗一郎さん。中学生になってもヤドカリの研究を続けて、赤ちゃん誕生から貝を背負って上陸するまでの最終目標を成功させました。その成果を下のようにレポートしてくれました。

【兵庫県・灘中学校1年 善明宗一郎さん】



今の僕があるのは、「海とさかな」自由研究・作品コンクールのおかげだと思っています。研究を続けていると、大変なことも悲しいこともあるかもしれませんが、それ以上にうれしいことや楽しいことがあります。あきらめず、がんばってほしい。



事務局から

漁排とは、伝統的な海での養殖場のことです。全体的に色鮮やかで、小屋の窓の中まで絵を描くなど細部までていねいに作っています。



工 作
郭 爾 信
香港日本人学校 4年

創作部門
海外作品特別賞

学校・団体協力賞

岩 手 県／大船渡市立赤崎小学校
福 島 県／郡山市立大島小学校
茨 城 県／常陸大宮市立大宮小学校
埼 玉 県／川口市立十二月田小学校
熊 谷 市立熊谷西小学校
東 京 都／青山学院初等部
神 奈 川 県／相模原市立大野北小学校
相模原市立谷口台小学校
湘 南 学 園 小 学 校
三 浦 市 立 初 声 小 学 校
横 濱 国 立 大 学 教 育 学 部 附 属 鎌 倉 小 学 校
石 川 県／金沢市立額小学校
山 梨 県／富士河口湖町立船津小学校
静 岡 県／湖西市立新居小学校
愛 知 県／豊川市立小坂井東小学校
扶 桑 町 立 扶 桑 東 小 学 校
名 進 研 学 園 名 進 研 小 学 校
三 重 県／桑名市立桑部小学校

大 阪 府／大阪市立三軒家東小学校
大阪市立諏訪小学校
大阪市立塚本小学校
大阪市立豊里小学校
大阪市立豊新小学校
大阪市立長居小学校
大阪市立堀江小学校
大阪市立鷺洲小学校
貝 塚 市 立 東 小 学 校
河 内 長 野 市 立 美 加 の 台 小 学 校
八 尾 市 立 大 正 小 学 校
兵 庫 県／高砂市立北浜小学校
奈 良 県／奈良学園小学校
和 歌 山 県／御坊市立湯川小学校
岡 山 県／岡山市立福浜小学校
広 島 県／呉市立横路小学校
東 広 島 市 立 西 条 小 学 校
東 広 島 市 立 原 小 学 校

広島市立己斐小学校
広島市立伴南小学校
広島大学附属東雲小学校
福山市立御幸小学校
福山市立蔵王小学校
福山市立手城小学校
福山市立東小学校
福山市立深津小学校
徳 島 県／藍住町立藍住南小学校
美 波 町 立 日 和 佐 小 学 校
佐 賀 県／唐津市立大志小学校
長 崎 県／雲仙市立千々石第一小学校
宮 崎 県／延岡市立伊形小学校
沖 縄 県／沖縄市立諸見小学校
日本国外／タイ日協会学校シラチャ校
香港日本人学校香港校小学部

最終審査会の先生方より



坂本 和弘（東京都多摩動物公園 副園長）
毎年、審査会でいろいろな研究や作品に出合えるのを楽しみにしています。今年も、子どもたちが様々なことに取り組んだ成果を目にし、コンクールにふさわしい作品を最優秀賞に選べたと感じております。



廣山 久志（農林水産省 水産庁 増殖推進部 研究指導課長）
全国規模の、優秀で選りすぐりの作品を審査するのは初めてで、ドキドキしながら作品を見させていただきました。いずれも甲乙つけがたい作品ばかりで、苦労しながら、でも楽しく審査しました。



有本 淳（文部科学省 国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官）
こうした大きなコンクールの審査は初めてでした。作品から、子どもたちが様々なフィールドに出て、いろいろな経験をしているのが分かりました。子どもたちの目線も面白く、新鮮な気持ちになりました。



佐藤 孝子（海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 技術副主幹）
今年の研究部門の作品はスマートにまとめているなという印象でした。作文は非常にレベルが高く、子どもの感情がうまい言葉で表され、ちょっと大人では出てこない表現もあって、感心しました。



堀井 豊充（水産研究・教育機構 研究推進部長）
仕事上、あまり面白そうでない研究を見た時に、夏休みの宿題みたいだなと言ったりしてきたのですが、今回の素晴らしい作品を見て、これからは、夏休みの宿題を見習いなさいと言いたいと思います。



神保 充（日本水産学会・北里大学 海洋生命科学部 准教授）
低学年生ががんばっていて、研究部門では観察図から自由研究につながっていくのも楽しみです。創作部門は作文が非常によく、絵本の方はもう少しがんばってほしいという印象でした。



飛田 浩昭（西武学園文理小学校 校長）
研究部門は今年も充実していました。研究の手続きがきちんとしてきたのは、このコンクールの功績だと思います。テーマの多様さやユニークさに、子どもたちが自由な発想を持っていることを再認識しました。



森田 和良（前筑波大学附属小学校 副校長）
ニュースで話題になったことをきっかけにした社会的な導入の研究もあり、楽しませていただきました。科学的な発想の作品の中には、自分で見た事実と調べた事実を区別した方がよいものも見受けられました。



石田 勲（朝日新聞社 科学医療部長）
初めて参加させていただき、作品を見ながら、粘土でこういうのを作ったとか、観察図を描いたとか、自分の子どもの頃を思い出しました。工作は、写真と実物でまったく違う印象を受けました。



森井 茂夫（日本水産株式会社 CSR部長）
初めて参加した昨年は、どこに注目して審査したらよいのか分かりませんでした。今年は、より難しいと感じました。厳選された作品ばかりですので、いつになったら見極められるのかといった感じです。



松本 宏樹（朝日学生新聞社 編集部 部長）
今年で37回を迎えるコンクールは、私が入社する前から続いています。毎年、勉強になる作品ばかりで、審査にはいつも苦労しています。今回も、優秀つけがたい作品が多く、選ぶのは責任重大だと思いました。

【各部門の特徴】

研究部門

「観察図」

- 例年通り、イカ・アジ・エビなど手に入れやすく身近な生物が多く見られました。
- 父親と釣りに行って見つけた珍しい魚や、スーパーでよく見かける魚への疑問から興味をわき、楽しく観察している様子うかがえました。

「自由研究」

- 「学力テスト」と称した実験でメダカの学習能力を調べた作品もあれば、植物に音楽を聴かせるのと同様、メダカにモーツァルトを聴かせるという実験をした作品もあり、同じ研究対象でもアイデアによって全く別の、個性あふれる作品を見ることができました。
- マイクロプラスチックによる海洋環境への影響やアサリの水質浄化など、環境問題をテーマとした作品も一定数ありました。
- 保護者の協力やアドバイスが強い後押しとなっている作品も多いように思います。また、優秀な作品ではグラフや図表を用いて分かりやすくまとめようという意欲が感じられました。

創作部門

「作文」

- 自分で釣りをした時の思いや、実際にさばいて食べた時の感想など身の回りの出来事を書いた作品が多く、漁師の父親・船長の祖父など身近な人々と海との関わりを子どもの目線から観察し、表現している作品が印象深かったです。
- メダカやアメフラシの飼育体験などを題材とし、詳細に観察した過程をまとめた研究タイプの作品もあり、感心させられました。

「工作」

- 例年通り、箱の中に海の風景を表現したものや生物の模型が大多数の中、本物の魚のうろこを一枚一枚カラフルにぬったものを組み合わせて作った風鈴など、新しい発想で作られた作品も見られました。
- 海岸に落ちているゴミだけで作った魚など、メッセージ性がありインパクトの強い作品もあれば、手で動かして遊べるような楽しい作品もありました。

「絵画」

- サケの幼生や、ゲームセンターにある魚釣りゲームで人気の古代魚など、豊富な題材が描かれていた半面、インターネットや情報の普及により、実験の感じられない表面的に上手な絵が多く、子どもらしい元気さや独創性あふれる自由で力強い作品が少なかった印象です。
- 漁港や市場を描いた作品は今まで高学年に多く見られましたが、今年は低学年からも見受けられ、描く対象の多様化、視点の広さが感じられました。

「絵本」

- 今年は国内・海外ともに絵がよく描けているものもストーリーが優れているものもあり、特にストーリーに関してはオリジナリティのある設定や展開のものが多く、全体的にレベルが高くなっていました。
- 色彩や雰囲気独特なものや、文にリズム感のあるもの、一風変わった言葉選びなど絵本然とした作品も増えてきた印象です。
- 一方で、紙が既製のスケッチブックのままや、体裁が整っていない作品も多々見受けられました。



最終審査会の様子

【応募作品の特徴】

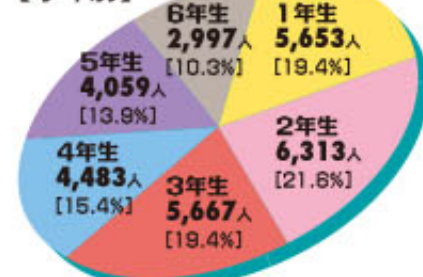
今年は、各部門においてテーマとなる生物の種類が多様化しており、ツチホゼリやデメニギスなど、これまでに見なかった生物をあつかった作品もありました。また、ウナギやラブカなど時事的な要素のある作品も多く、普段から海洋生物に関心を持っていることが感じられました。

【応募状況（人数）】

北海道	34	東京都	831	滋賀県	570	香川県	57
青森県	75	神奈川県	2,284	京都府	295	愛媛県	309
岩手県	45	新潟県	505	大阪府	6,269	高知県	74
宮城県	192	富山県	36	兵庫県	703	福岡県	818
秋田県	5	石川県	77	奈良県	352	佐賀県	216
山形県	227	福井県	0	和歌山県	396	長崎県	953
福島県	295	山梨県	332	鳥取県	41	熊本県	282
茨城県	751	長野県	163	島根県	4	大分県	37
栃木県	250	岐阜県	271	岡山県	918	宮崎県	262
群馬県	15	静岡県	853	広島県	3,409	鹿児島県	537
埼玉県	1,294	愛知県	1,586	山口県	16	沖縄県	151
千葉県	521	三重県	55	徳島県	906	日本国外	900

合計 29,172人

【学年別】

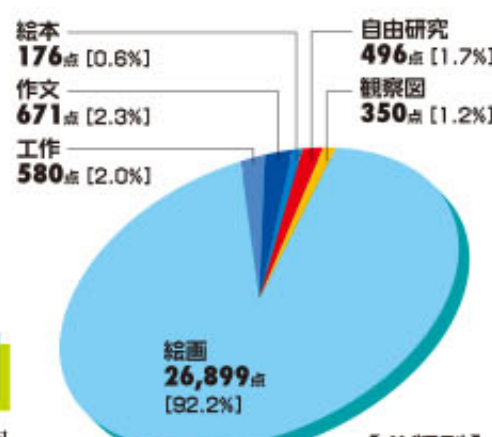


作品数合計 29,172 点

応募作品数は29,172点と、昨年を2,455点下回りました。「研究部門」の「自由研究」は応募減になりましたが、「観察図」は増えました。「創作部門」は応募数が増えるなかで、「作文」はたくさんの作品が寄せられました。

応募者全員に
「海とさかな博士号認定証」と
「ニッスイおさかなクリアファイル」
贈呈！

※「研究部門」「創作部門」最優秀賞入賞者には、賞状・盾、副賞として図書カード（5万円分）を贈呈。
※「研究部門」「創作部門」最優秀賞入賞者には、表彰状当日と翌日に、有名人テーマパーク（千葉県浦安市）へ、ご家族でご招待いたします。
※学校団体応募に際しては、応募作品数、ならびにその学校・団体に於ける取り組みなどを審査し、事務局審査において推薦された52校・団体に、学校・団体協力賞として賞状と図書カード（2万円分）を贈呈いたします。



入賞作品67点、そのうち
最優秀賞16点
海外作品特別賞1点
優秀賞50点
が決定しました。

※海岸にいる生物には漁業権が設定されている場合があります。採集をするときには必ず管轄の漁業協同組合にたずねましょう。